

テーマ	直接原価計算（Ⅱ）				
学籍番号					氏 名

1. 当社は、製品Aを生産・販売しており、現在、時期利益計画を策定中である。当期の業績は次のとおりであった。時期においても、販売価格、製品単位あたり変動費額及び期間あたり固定費額は当期と同一であるとして、以下の問に答えなさい。なお、仕掛品及び製品の在庫はないものとする。

〔資料〕

売 上 高	買 掛 金	@2,000 円×7,500 個	15,000,000 円
原 価 変動費	変動売上原価	@1,000 円×7,500 個	7,500,000 円
	変動販売費	@100 円 ×7,500 個	750,000
固定費	固定製造原価		3,200,000
	固定販売費・一般管理費		1,300,000
営業利益			<u>2,250,000 円</u>

- 次期における損益分岐点の販売数量を計算しなさい。
- 次期における損益分岐点の売上高を計算しなさい。
- 次期の目標営業利益 3,600,000 円を達成する販売数量を計算しなさい。
- 次期においては、競争業者の出現に対応するため、販売価格を 20%値下げすることになったとして、当期と同額の営業利益を達成する販売数量を計算しなさい。
- 販売部門責任者の意見によれば、上記問4で計算した販売数量は達成が困難であり、販売価格を 20%値下げしても販売数量は 13,000 個が限界である。そこで、この販売価格と販売数量を前提とし、当期と同額の営業利益を達成するために、固定費を削減することとした。削減すべき固定費の金額を計算しなさい。

(1)	5,000 個
(2)	10,000,000 円
(3)	9,000 個
(4)	13,500 個
(5)	250,000 円

授業の感想など	
---------	--